

社会福祉充実計画1ヵ年目事業報告

事業名	職員育成・負担軽減事業	高齢者生きがい対策事業
<p>事業の概要</p>	<p>介護職員の負担軽減のための設備として、センサー付きベット、それに対応できるナースコールの更新について計画しました。</p> <p>①センサー付ベットの購入については前年度の補正予算でロボット導入に100%の補助事業が採択され、3月末に3台のベットを設置した</p> <p>② ナースコール設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内を PHS 基地を設置し職員間の意思疎通を図る ・既に導入済みのセンサー付介護ベットと連動させる 	<p>当地域は純農村地域で、高齢化率も高く、農業に従事する高齢者が多く、腰痛、高血圧の疾患が、そのため、介護保険サービスを受けていない高齢者に対し施設職員が中心となり、健康づくり推進を進める。</p> <p>○ 高齢者等の拠点づくり</p> <p>施設内空地を利用して、日本庭園、及び東屋を設置する</p> <p>この拠点を利用して健康教室等を実施し、高齢者子育て支援を地域ボランティアと協力しながら、推進していく</p>
<p>事業の実施スケジュール</p>	<p>① センサー付きベットは補助事業が採択されたことにより4月以降の予定が、前年度末に前倒しされた。</p> <p>② ナースコールの設置</p> <p>日本馬主連盟の補助事業が採択されたので、10月下旬工事完成を目指す、</p>	<p>日本庭園・東屋については、一部を除き職員手作りで設置した。特に竹を使った外柵等は称賛されている・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なサロンの開設 ・健康チェックと体操 ・食事の献立実技指導 ・スポーツ、レクの開催
<p>事業による効果</p>	<p>認知症や、重度介護者の入居率が増加し、それにより転倒徘徊の事故発生が予測される施設内を PHS により職員が早期に感知し対応できる。</p> <p>特に少人数で対応する夜間については、職員の介護負担が軽減できる</p>	<p>介護認定を受けていない、高齢者に生きがいと、健康づくりを地域一体となって) 推進する。また子育て支援についても地域女性会と協力し、子育て不安解消を進める。</p>